



責任者からのメッセージ

小児科
教授 盛武 浩



「なぜ小児科を選んだのですか？」とよく質問を受けます。私の場合、“小児医療は「曙の医学」である”と学生実習中に先輩小児科医師がおっ

しゃった素敵なフレーズが胸に突き刺さり、小児科医になることを決めました。小児医療は、根治を目指し全力投球でき、その結果、病気を克服した子ども達が成人となり、少子化で苦しむ日本の救世主として社会へ羽ばたく姿をみられる喜びを実感でき、まさに「曙の医学」です。また、細分化された現代医療の中で「全身を診る」という学問的にも非常に満足度が高い分野です。

共に宮崎の小児医療を担ってくれる、志の高い若い先生をお待ちしています。

プログラムの特徴

本プログラムは、主に宮崎大学医学部附属病院、県立宮崎病院、県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構都城医療センター、国立病院機構宮崎病院の6つの病院で研修することで、予防接種や健診を含む一次医療から三次医療まで幅広い知識と診療技能を偏りなく習得することが可能です。それぞれの病院で異なるタイプの医療を必要とする診療を経験し、指導・教育を受けることで、小児科専門医取得のための到達度を十分に満たすことができます。また、宮崎大学医学部附属病院には宮崎県下の症例が集約されており、各診療グループでの専門診療を行っていますが、グループ間の垣根がなく、それぞれの専門分野の知識や技術を活かし、1人の患者さんについて複数のグループで協力しながら適切な医療を提供する体制が構築されていることは、自慢できる特徴といえます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	盛武 浩 教授、他14名	小児医としてヒトの成長と発達をままもり援助するという心構えを確立する。小児科学のすべての領域をくまなく経験し、小児科医として必須の知識と診療技能を習得する。
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構 都城医療センター、国立病院機構 宮崎病院		
関連施設	国立病院機構 宮崎東病院、都農町国民健康保険病院、宮崎市総合発達支援センター、愛生会日南病院、小林市立病院、高千穂町国民健康保険病院、京都市立病院		

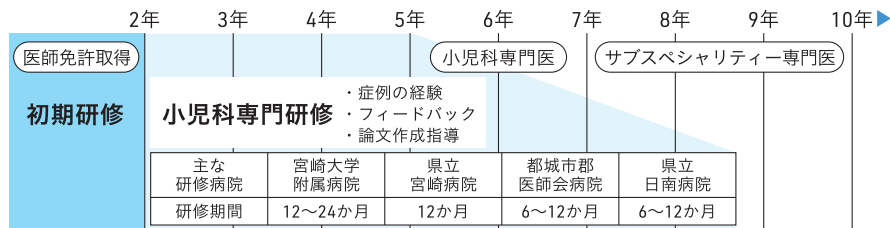
取得可能な専門医資格および技能

3年間の研修によって、小児科医として必要な小児の診察、採血や腰椎穿刺、骨髄穿刺などの一般的な手技を取得することができます。また、地域の一般病院の研修では、予防接種や検診について、各種専門領域の研修では、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、腎泌尿器超

音波検査、腎生検、脳波検査、内分泌負荷試験、骨髄検査の評価、食物負荷試験などを学ぶことができます。
3年間の研修の後、小児科専門医を取得可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

専攻医登録後、それぞれの研修病院を半年から1年間研修することで、小児の主要な症候や新生児から各種専門領域の疾患を経験し、3年経過したのちに小児科専門医試験を受験することができます。



プログラム達成目標

専攻医は3年間の研修によって、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医となることを目指します。宮崎大学医学部附属病院で研修を開始し、小児科の基本的な考え方や手技、感染免疫・アレルギー・膠原病・内分泌代謝・血液腫瘍・腎泌尿器・循環器・

神経筋・新生児医療などの各専門領域の研修を行い、2年目以降は各関連病院で小児の急性疾患、慢性疾患、地域医療を6か月間から1年間それぞれ担当医として研修します。3年間を通じ外来での乳児健康診査、予防接種などの小児保健・社会医学の研修と救急疾患などすべての領域を研修します。

主要症例名と実績数

肺炎や気管支炎、急性腸炎などの小児の感染症はもちろん、経験できる各種専門領域の主要な症例と年間の実績数は右の通りです。

血液・腫瘍領域
神経・筋領域
循環器領域
腎・泌尿器領域

免疫・膠原病・アレルギー領域
内分泌・代謝領域
新生児領域 (NICU)

白血病(6人)、悪性リンパ腫(2人)、固形腫瘍(5人)など
てんかん(30人)、脳炎・脳症(10人)、発達障害(60人)など
先天性心疾患(80人)、心筋疾患(10人)、不整脈(5人)、難治性川崎病(5人)など
ネフローゼ症候群(10人)、慢性糸球体腎炎(20人)、慢性腎不全(2人)、急性腎機能障害(5人)、先天性腎尿路異常(20人)など
免疫不全症(2人)、膠原病(5人)、アレルギー(10人)など
低身長(30人)、糖尿病(5人)、甲状腺疾患(10人)など
超低出生体重児(30人)、人工呼吸器管理(60人)、新生児手術(40人)など

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時 間	月	火	水	木	金	土・日
～ 8:30	受持患者情報の把握					週末日直 (2／月)
8:30～ 9:00	抄読会・研究会報告	入退院・カンファレンス	ミニレクチャー	症例検討会	入退院・カンファレンス	
9:00～ 9:30	グループカンファレンス グループ回診					
9:30～12:00	病 棟	病 棟	病 棟・外 来	病 棟・外 来	病 棟	
12:00～13:00					薬理セミナー（不定期）	
16:00～17:30	病棟 学生・初期研修医の指導 血液腫瘍カンファ 腎泌尿器カンファ	病棟 学生・初期研修医の指導 全体カンファおよび 総回診	病棟 学生・初期研修医の指導 代謝・内分泌カンファ 神経カンファ	病棟 学生・初期研修医の指導 ハンズオンセミナー 学生症例発表（隔週）	病棟 学生・初期研修医の指導	合同勉強会 (年3回)
17:30～19:00	患者申し送り					
13:00～17:00		リサーチミーティング（隔週）			ふりかえり (1／月)	

※ 小児泌尿器合同カンファ(1/月)、循環器外科合同カンファ(1～2/月)を月曜日に開催

指導医からのメッセージ



准教授 此元 隆雄

宮崎大学小児科は、県北部の県立延岡病院、西部の都城医療センター、都城医師会病院、南部の県立日南病院、中央の県立宮崎病院へ医師の派遣を行い連携をとりながら宮崎県全域の小児医療の充実と発展のために日々頑張っています。専攻医は大学病院と地域の中核病院などで研修をすることで小児科専門医の取得が可能です。専攻医の指導体制は、中堅医師が直接指導を行い、さらに各専門分野に関してはそれぞれのサブスペシャティの専門医・指導医とともに診断・治療を行うことで最新の知見を学ぶことができます。女性医師も多数在籍しており、女性医師の様々なライフプランを医局全体で応援しています。小児医療に対する情熱をお持ちの方は、出身地、出身大学、男女問わず、いつでもご連絡ください。

先輩からのメッセージ



専攻医 海老原 秀生

小児科を志したきっかけは初期研修期間の大学での小児科研修でした。担当させていただいた白血病の子から最終日に絵をもらい、子ども達と信頼関係を築いていく過程に、他の診療科にはない魅力を感じました。もちろん入局してからは、時に悲しくつらい場面に直面することもありましたが、小児科の先生方は医学的なことに限らず、日々の診療で困ったことがあれば何でも相談に乗って下さいました。また私自身、学生時代は対象とする疾患分野の多さから小児科に苦手意識を持っていましたが、教授をはじめ先生方が優しく指導してくださるため、今では着実に各分野の知識を深めることができています。小児科は充実したサポート体制のもと安心して働くことができ、何よりかわいい子どもたちとたくさん触れ合うことができる唯一の診療科です。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



助教 原田 雅子

こどもは好きですか？臨床医はどの分野でも修練期間があります。時に辛いこと、苦しいこともあるかもしれませんが、小児科医の醍醐味はどんな時もこども達から元気をもらえることです。指導医もまた、こども達からいつも元気と若さをもたらしております。こどもにパワーをもたらした大人はなんと、自然に優しく笑顔になります。つまり職場の雰囲気の良いすぎます。気軽に相談できます。みんなが自然に多様な働き方を心から受け入れています。私はその雰囲気によってこの世界の窓をたたき早14年。年々さらに良くなる医局の雰囲気を体感しています。さあ、あなたも私たちと一緒に明るく優しい小児科医になって、こども達の未来を支えていきましょう！



専攻医 代永 良太

私が宮崎大学小児科を選んだ理由は、明るい医局の雰囲気、そして子どもたちの笑顔です。指導医の先生方は温厚な先生方ばかりで、日々優しく丁寧に指導して下さいます。また、若手医師も数多く入局しており、些細なことも気兼ねなく相談でき、サポートしてくれる身近な先輩がたくさんいます。時にはつらく悲しい場面に立ち会うこともありますが、病気と懸命に闘いながら笑顔振りまってくれる子どもたちから、私たちの方が日々エネルギーをもらっています。小児科は子どもたちの成長に寄り添える唯一の診療科です。充実した指導体制が整っている宮崎大学小児科で、子どもたちの未来のために、一緒に頑張りましょう！待っています！

お問い合わせ先

担当：此元 隆雄

T E L：0985-85-0989

F A X：0985-85-2403

e-mail：konomoto@med.miyazaki-u.ac.jp

小児科HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pediatrics/



皮膚を通して
全身を診ることのできる医師を育てる

皮膚科専門研修プログラム

募集定員
4名

研修期間
5年



責任者からのメッセージ

皮膚科
教授 天野 正宏



皮膚科は新生児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんを対象とし、アトピー性皮膚炎や薬疹など薬物療法が主体の疾患から、熱傷や皮膚癌などの外科的治療が必要なものまで守備範囲とすることが大きな魅力です。数多くの症例を経験することで、患者さんの病巣を的確に表現できるようになり、そしてこのことは臨床診断や病態の把握に役立ちます。また皮膚科ではマクロ(臨床)とミクロ(皮膚病理)を対比できるのが強みです。病理が苦手という方もいらっしゃるかもしれませんが、皮膚病理は確定診断になる事はもちろん、臨床像や病態と密接に関係しています。私たちとマクロとミクロを診る目を養って頂きたいと思います。私たちとここ宮崎で皮膚科学を極めたい仲間を歓迎いたします。

プログラムの特徴

外来患者数は1日平均50人以上、疾患も先天性皮膚疾患、炎症性皮膚疾患、皮膚悪性腫瘍など多岐にわたります。入院患者は重症薬疹、熱傷、皮膚癌など重症患者も多く、豊富な経験を積むことができます。また年間手術件数も多く全身麻酔の症例だけで約300件の多くの手術を経験することができます。内科系から外科系まで幅広く知識・技術を習得することができ、また研究面においては、南九州に多いとされる成人T細胞性白血病/リンパ腫の進行に関連する遺伝子変異の検索を行っています。地域医療に貢献できる研究や診察を目指しています。

連携施設名等

	施設名	指導医	1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	天野 正宏 教授、他4名	56.3名	13.2名	243(入院)例
連携施設	県立宮崎病院、県立延岡病院、千代田病院、古賀総合病院、順天堂大学医学部附属 順天堂医院、九州大学病院				
準連携施設	国立健康保険西米良診療所、高千穂町国民健康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院、県立日南病院				

※プログラムに書かれている施設への研修は、必ずしも全ての施設で研修できるということではありません。

取得可能な専門医資格および技能

- 機構認定皮膚科専門医
- 日本皮膚科学会認定皮膚悪性腫瘍指導専門医
- 日本皮膚科学会認定美容皮膚科・レーザー指導専門医

専門医取得までのタイムスケジュール

基幹：研修基幹施設での研修

大学院(研究)：基礎医学の講座などで研究に専念する期間(2年間まで)

連携：研修連携施設での研修

⇒県立宮崎病院(宮崎市)、古賀総合病院(宮崎市)、千代田病院(日向市)

大学院(臨床)：皮膚科を研修しながら研究をする期間

コース	研修1年目	研修2年目	研修3年目	研修4年目	研修5年目	
A 基本コース	基幹	基幹	連携	連携	基幹	受験申請 ↓ 専門医試験 ↓ 専門医 ↓ サブスペシャリティー修得
B 連携施設中心コース	基幹	連携	連携	連携	基幹	
C 社会人大学院コース	基幹	基幹 (社会人大学院)	連携 (社会人大学院)	基幹 (社会人大学院)	基幹 (社会人大学院)	
D 大学院在学中に受験するコース	基幹	連携	基幹	大学院 (研究)	大学院 (研究)	

※産休・育休の期間は**6か月**を上限に研修期間として認められます。

※1人医長の期間は最大2年まで研修期間として認められます。

※大学院生として皮膚科以外の臨床講座あるいは基礎系講座あるいは研究所等にて皮膚科領域に関連する研究に従事する場合は、2年間に限りに研修期間と認められます。

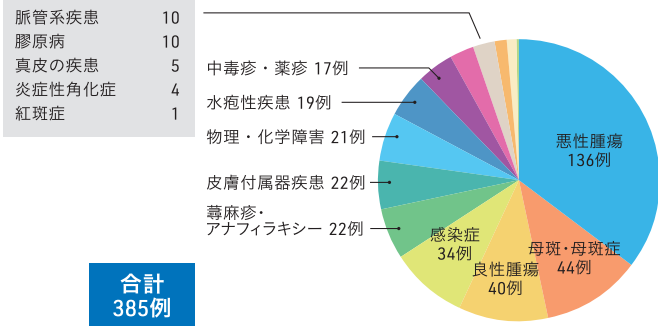
プログラム達成目標

皮膚科専門医として信頼され安全で標準的な医療を国民に提供できる十分な知識と技術を獲得できることを目標とし、医師としての全般的な基本能力を基盤に、皮膚疾患の高度な専門的知識・治療技能を修得し、関連領域に関する広い視野をもって診療を行うことが出来るようになることを目標とします。

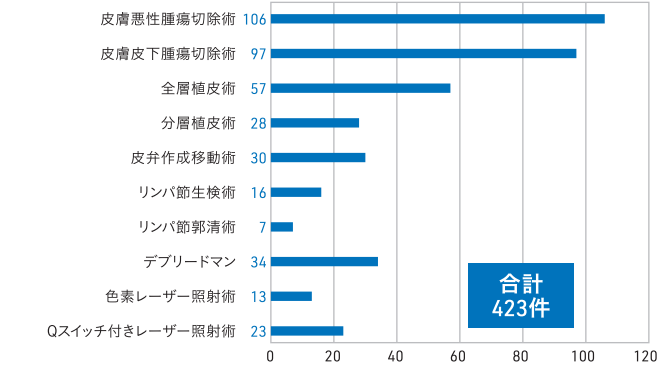
主要症例名と実績数(令和5年度)

昨年度の実績数は以下のとおりです。

疾患別延べ患者数



手術件数(令和5年)



週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

月曜は終日カンファレンスを行います。専攻医は自身の受け持ち入院患者について1週間のウィークリーサマリーのプレゼンテーションを行ってもらいます。また皮膚病理検討会や、外来スライドカンファレンスも行っております。外来患者のカンファレンスにも参加することで、稀な疾患からコモンな疾患まで幅広く知識を深めることが出来るようなカンファレンスを行うことを目標としています。抄読会も行い、英語論文に慣れ親しんでもらうことを目的としています。水曜金曜の

時間	月	火	水	木	金
AM	病棟回診	手術及び病棟	外 来	手術及び病棟	外 来
PM	カンファレンス・病理・抄読会等	手術及び病棟	外 来	手術及び病棟	病棟、回診

指導医からのメッセージ

助教 江藤 博文

皮膚は人体最大の臓器であり、皮膚科という領域は非常に多岐にわたっています。学問としては非常に難解で困ることも多々ありますが、診療科全体で協力して診療にあたっています。研究や留学のテーマも幅広く、非常にやりがいのある診療科です。私自身手術をしたくて専攻したため、国立がん研究センター中央病院へ留学し、悪性腫瘍や手術について日々研鑽しながら外来で一般皮膚科も診療しています。様々なスペシャリティーが存在し、様々な進路選択があることも魅力だと思っています。女性の先生も多く働き方も多様です。皮膚科の専攻を考えていなくてもきっと実りある研修になると思いますのでローテーションをご検討いただけたら嬉しいです。

先輩からのメッセージ

専攻医3年目 福良 拓也

令和4年度入局の福良と申します。延岡市出身で宮崎大学医学部を卒業後、県立宮崎病院で2年間研修し宮崎大学皮膚科へ入局しました。元々肌荒れに悩んでいたこともあり少なからず皮膚科に興味はありましたが、研修医の時は外科、循環器内科、救急などと診療科選択を悩んでいました。皮膚科は赤ちゃんからお年寄りまで幅広く診れること、内科的にも外科的にも取り組めること、普段の勉強が日常生活に役立つ機会が多いことから魅力を感じるようになりました。専攻医となってからは研修医の時の知識をアップデートというよりも、0からの再スタートに近い感覚があり最初はなかなか慣れませんでした。徐々に皮膚科の奥深さと面白さを実感しつつ診療に向き合うことができています。皮膚科は患者さん自身が治療効果を実感できる診療科であり、治療継続するためにも患者さんとの信頼関係が重要だと感じています。今後も上級医の先生方や患者さんから様々なことを吸収し日々精進していききたいと思います。

お問い合わせ先

担当：持田 耕介

T E L : 0985-85-2967

F A X : 0985-85-6597

e-mail : derma@med.miyazaki-u.ac.jp

皮膚科 HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/derma/

多様性に富んだ心と人生を支える精神科医を目指してみませんか？

精神科専門研修プログラム

募集定員
10名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ

精神科
准教授 平野 羊嗣



目まぐるしく変化する現代社会のニーズに応えるべく、精神科医の活躍の場は益々増えています。患者さんの悩みや人生に寄り添い、多様性に富んだ人間の心(脳)を診ることができる、一流の精神科医を育てることが我々の最大のミッションです。そのために、当科は個々人の多様性と自由闊達な雰囲気大切にしています。当科のプログラムは、指導体制が充実した多数の高度な専門医療機関と連携しながら、常にバランスのいい研修ができるように心がけています。また、精神科医として欠かせない科学的な視点を養うためにも、専門医を目指しながら研究に従事できる環境も整えています。我々と一緒に、多様性に富んだ心と人生そのものを支える精神科医を目指してみませんか？

プログラムの特徴

県内の多くの精神科医療機関と連携したプログラムです。基幹施設の宮崎大学医学部附属病院精神科では、救急部と連携した精神科救急、身体合併症、難治性精神疾患、器質症状性精神障害、緩和ケア、リエゾンなど学びます。県立宮崎病院、児童思春期の専門医療機関、認知症疾患医療センター、単科精神科病院などをローテートして研鑽を積み、精神保健指定医と専門医を並行して取得することが可能です。また、大学院進学のパログラムもあります。石田康教授の退官に伴い、2024年からはプログラム責任者が平野羊嗣准教授に交代し、これまで積み重ねてきた知見に新たな風が加わり、より充実したプログラムをお約束します。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	平野 羊嗣 准教授、他6名	統合失調症、気分障害、神経症性障害、認知症。精神科救急、思春期症例などの治療、さらに身体合併症治療、コンサルテーション・リエゾンなど精神科臨床を幅広く経験できる。
連携施設	県立宮崎病院精神医療センター、国立病院機構 宮崎東病院、井上病院、協和病院、高宮病院、大悟病院、野崎病院、宮崎若久病院、内村病院、国見ヶ丘病院、県南病院、鮫島病院、都城新生病院、田中病院、谷口病院、永田病院、吉田病院、延岡保養園、若草病院、九州大学病院		

取得可能な専門医資格および技能

日本精神神経学会専門医・精神保健指定医を取得後は、精神科医としての経験を積みながら、サブスペシャリティを深めることを推奨します。大学病院精神科では、以下の専門医などが取得できます。

- 日本老年精神医学会認定専門医
- 精神科救急認定医
- 日本緩和医療学会専門医
- 一般病院連携精神医学専門医
- 子どものこころ専門医

専門医取得までのタイムスケジュール

1年目は大学病院において、精神科の基礎知識習得のため新たに導入した精神科クルズスを皮切りに、主要な精神疾患の診断や治療、さらには身体的・器質的疾患の除外など、精神科医として必要な幅広いスキルと論理的考察を身につけます。2年目以降は各自の希望に沿ってプランを組んでいきます。精神保健指定医や専門医として必要な症例も3年間で十分経験することができます。学会発表や論文、症例報告の指導を通じ、科学的な視点で精神疾患を診る姿勢を学んで頂きます。また、リサーチマインドの涵養のため、専門医取得と併行して博士課程で学位を取得することも可能です。



ダブル取得! ●精神科専門医
●精神保健指定医



プログラム達成目標

1年目は指導医と一緒に、主要な精神疾患を受け持ち、面接技法、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学ぶ。身体疾患に伴う様々な精神的問題に対処すべく、リエゾン精神医学も経験する。症例カンファやセミナーに参加し、学会や研究会で発表する。2年目は指導医の指導のもと、面接技法、診断、治療計画の能力を高める。薬物療法の知識を深め、認知療法など精神療法の基本的な考え方を学ぶ。また、症例報告などの執筆や学会発表の指導を受ける。3年目は指導医から自立して診療できるようにする。各種精神療法を上級者の指導の下に実践し、心理社会的療法、精神科リハビリテーション、地域精神医療等を学ぶ。

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
AM	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診	病棟業務 メタ認知トレーニング
PM	入退院カンファ & 病棟回診 病棟業務 脳波カンファ	病棟業務 リエゾンカンファ & 回診 精神科救急カンファ & 回診	病棟業務 集団精神療法	病棟業務 & SST 緩和ケアカンファ & 回診	Clinical & Research セミナー 病棟業務 病棟カンファレンス

指導医からのメッセージ



講師 船橋 英樹 (医局長)

精神科には、精神保健指定医と精神科専門医の二つのライセンスがあります。3年の時間をください。大学病院を基幹として、県内外の連携施設とともに、指定医・専門医にふさわしい症例を経験してもらい、疾患の考え方から治療法、精神保健にまつわる法律、レポートの書き方まで、責任をもって指導します。申請者はすべて遅滞なく合格しています。まずはスタンダードができる精神科医をしっかりと育成しますし、そこからサブスペシャリティの相談にも乗ります。従来の老年精神専門医、緩和医療専門医に加え、子どものこころ専門医、精神科救急専門医、リエゾン専門医の体制を整備しました。大学院で博士を取得したい人もぜひ。お待ちしております。普段より真面目に答えています。

先輩からのメッセージ

助教 古郷 央一郎 (リエゾンチームリーダー・救命救急センター担当)

救急で働く精神科医ですが、休みの日は仕事を忘れて一生懸命遊びます。自然豊かな宮崎県では、車で1時間もあれば、溪流釣り、キャンプ、サーフィンなどアウトドア全般を楽しめます。休日は仕事を忘れて自然と対話し、キャンプで家族と大笑い。4人の子供達との日々は、まさに冒険そのもの。忙しいけどメリハリのある生活を送っており、このバランスが僕のリフレッシュ法です。宮崎大学精神科では、医局員の健康を第一にサポートしてくれています。仕事もプライベートも全力投球で、毎日を楽しみましょう！

主要症例名と実績数

症例	外来	入院
F0 器質症状性精神障害	約4,600例	約2,200例
F1 精神作用物質障害	約800例	約500例
F2 統合失調症圏	約3,700例	約2,300例
F3 気分障害	約4,500例	約1,000例
F4 神経症性障害	約3,000例	約400例



助教 大平 洋明 (教育医長・卒後臨床研修センター)

精神科専門研修をお考えの先生、精神科に興味を持っていただき有難うございます。先に白状しますと、当教室は田舎の大学精神科医局です。常に人手不足です。都会のキラキラした大規模病院のように、様々な専門性を売りにしているわけではありません。カリスマ指導医も、今はまだ、いません。けれど小さいからこそ結束力が強く、日々起こる想定外の事態に知恵を出し合って対応しています。精神保健指定医や精神科専門医を取得するための症例には事欠きません。指導医も病棟医もそれぞれ専門性を意識しながら診療や研究に専念しています。宮崎県の自殺対策に情熱を燃やす医師、災害精神医療の研鑽や準備に余念のない医師、他科と密に連携しながら緩和ケアに貢献する医師、電気けいれん療法の最適化を臨床の立場から模索する医師、サーファーの精神世界に惹かれ早朝必ず波に乗ってから臨床に臨む医師、など魅力的な先輩だけです。もちろん、子育て中の医師もあり、ライフサイクルに合わせた柔軟な勤務、研修が可能です。精神科医としての第一歩を、ぜひ当科の研修プログラムで踏み出してみませんか。4月にお会いできますことを、楽しみにお待ちしております！



お問い合わせ先

担当：船橋 英樹

T E L : 0985-85-2969
F A X : 0985-85-5475
e-mail : psychweb@med.miyazaki-u.ac.jp

精神科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/psychiatry/>



いざ宮崎の革新的な外科大講座へ！
日々是好日へ

外科専門研修プログラム

募集定員
10名

研修期間
3年

プログラムの特徴

宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、宮崎県で有数の研修病院・拠点病院・救急病院として知られる複数の病院が連携施設になっています。病院の規模や地域性が異なり、幅広い経験が可能です。宮崎大

取得可能な専門医資格および技能

1階建て部分の外科専門医を3年で取得し、引き続き2階、3階建て部分の各サブスペシャリティ専門医に速やかに移行していきます。外科医師に求められる基本的診療能力・態度(コアコンピテンシー)と



連携施設名等

	施設名	統括責任者	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	七島 篤志 教授	消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺内分泌外科
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、県立延岡病院、宮崎市医師会病院、都城市医師会病院、宮崎県済生会日向病院、串間市民病院、潤和会記念病院、千代田病院、新行橋病院、古賀総合病院、南部病院、宮崎生協病院、黒木病院、さがら病院宮崎、国立病院機構 宮崎東病院、宮崎善仁会病院、国立病院機構 都城医療センター、小林市立病院		



責任者からのメッセージ

肝胆膵外科学分野
教授 七島 篤志



宮崎大学医学部外科が誇る革新的な大講座制度プログラムに、あなたの若々しい独創性を織り交ぜましょう！私たちの外科プログラム

は、全国で唯一、外科全般6領域＋形成外科をカバーしつつ、消化器外科を目指す方々には、サブスペシャリティのプログラムが用意されています。我々が所属します専攻医が取得する日本外科学会専門医制度では、最終的なサブスペすべての領域を統括し、今後はさらに専門領域へと一元管理が拡大される予定です。

外科医の課題には、第一に地方での専門医不足がありますが、逆に考えれば、都会の大規模病院に比べて個々のチャンスは多いと捉えることができます。第二として、女性外科医の促進と環境整備です。他の領域と同様に、積極的な管理運営が期待されています。私たちも、職場環境を整え、常にウェルカムな体制を2015年から実践しています。第三の課題は働き方改革で、2024年春からは時間外労働の制限や勤務状況による労働の在り方が一般の労働基準に近づきます。過去の過重労働や無益な労働を解消し、外科医の働き方やワークライフバランスに配慮することが求められます。若くて才能あふれる皆さん、技術と知恵、未知の能力を兼ね備えたあなたが、地域から世界を支え、発展させていく一員となりませんか。うまくこなせば**日々是好日(ひびこれこうじつ)**な生活も送れる時代になってきました。外科における急速なデジタル技術、高速回線、AIなどの進歩を活用して、これまでの煩わしい雑務や手順を効率化し、本来求められてきた**外科医の生命を救う真の能力を発揮できる**ようになってきております。グリーン(またはブルー)ジャケットを身につけながら、外科医のみが許される生体に傷を加えることのできる技術からのみ得られる、将来の**謙虚で優れた全人的人格**を形成していくことが大切です。さあ、技術と知恵と、まだ見ぬ外科医としての未知の能力を兼ね備えた若人のみなさん、我々と一緒に世界を地域から支え、発展させていきましょう！

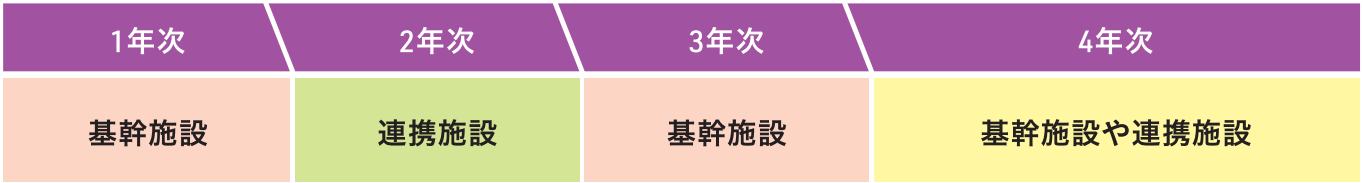
学外科専門研修プログラムの関連施設全体での手術総数は約20,000件です。大学病院の手術は軒並み増加しバラエティ豊かに発展しています。分野間の連携が良く、将来何事にも対応できる専門医をめざせます。

外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術を取得します。

専門医取得までのタイムスケジュール

外科専門医は初期臨床研修修了後、3年(以上)の専門研修で育成されます。3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で最低6カ月以上の研修を行います。下図に宮崎大学外科研修プログラムの1例

を示します。専門研修1年目は基幹施設、2年目は連携施設、3年目は基幹施設や連携施設での研修です。3年目以降の研修は2年次終了時の達成度合いで、研修内容を検討いたします。



外科専門医研修

サブスペシャリティ領域など専門医研修

大学院コースまたは外科系臨床腫瘍医養成コース

サブスペシャリティ領域によっては外科専門研修を修了し、外科専門医資格を取得した年の年度初めに遡ってサブスペシャリティ領域専門研修の開始と認める場合があります。

専門研修期間中に大学院へ進むことも可能です。大学院コースを選択して臨床に従事しながら臨床研究を進めるのであればその期間は専門研修期間として扱われます。

習得目標及び経験症例数

○ 専門研修1年目

主に大学病院で基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的に開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌

経験症例 200例以上(術者30例以上)

○ 専門研修2年目

基本的診療能力の向上に加えて、主に関連病院で外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌

経験症例 350例以上/2年(術者120例以上/2年)

○ 専門研修3年目

チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを取得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。3年目は原則として宮崎大学病院で研修を行い、不足症例に関して各領域をローテートします。

主要症例名と実績数

宮崎大学医学部附属病院において、外科の年間の退院患者数は約1,200人、外来患者延べ人数は、約12,000人です。手術件数も年間約1,200件ありますので、各分野の症例数は十分に満たします。

院患者数

約1,200人

外来患者延べ人数

約12,000人

手術件数も年間

約1,200件

ココに注目！

現代の患者のニーズでは女性外科医の必要性は年々高まっていて、宮崎大学プログラムはいち早く女性医師が働きやすい環境整備をすすめ、性別にかかわらず就業・キャリア形成ができるよう最善を尽くしています。女性が働きやすい職場こそ男性も働きやすい職場である認識から、共に21世紀の働き方を改革しましょう。

MIYAZAKI Med SURG © 2021

The winner
the better
2020

自己
研鑽

有事即應
COVID-19 PANDEMIC
2020

MANGOU
2015

Safe and Secure

安心・安全

7th-year Anniversary, New normal!

STRONG
2017

MIYAZAKI STRONG

宮崎大学外科学講座の
ロゴマーク

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時 間	月	火	水	木	金
朝	カンファレンス	カンファレンス	抄読会、勉強会	カンファレンス	カンファレンス
午前	病棟業務・外来				
午後	外来・総回診	外 来			
9:00～	手 術				
夕方	放射線診断合同 カンファレンス	医局全体ミーティング	内科外科合同カンファレンス 医局全体ミーティング	病理合同カン ファレンス	病理合同カン ファレンス

指導医からのメッセージ



消化管・内分泌・小児外科
市原 明子

初期研修が無事終了し、これからいよいよどの専門に進むか思いを巡らせておられることと思います。一度きりの人生を大きく左右する選択といっても過言ではありませんが、これまでの学生生活や研修医期間の決められたカリキュラムと違って、これからは自分がどんな医師人生を歩んでいきたいか、それぞれの意思で自分の道を築いていくことになります。当外科学教室は大講座制で、各専門分野の先輩たちと一緒に働きながら、自分の関心のある領域をじっくり選ぶことが可能です。また、大学病院と地域の連携病院をローテートする研修プログラムを通して、幅広くバランスの取れた臨床経験を積んでいくことができます。困難を乗り越えながら、一生探求し続けることのできる魅力的な分野と思います。興味のある方、大歓迎です！

先輩からのメッセージ



猪俣 麻佑

私自身、学生や研修医時代は見るもの全てが新鮮で、なかなか志望科を決めきれずにいましたが、その中でも手術の面白さに触れ、さらに患者様の体内から自分たちの手で病気を取り除くことができることに医師としての醍醐味を感じて2020年度より入局しました。宮崎大学は大講座制であり、各領域が一同に集まっていることで相談しやすい環境が整っていることが大きな特徴の一つだと思います。温かく、熱心な先生方からご指導いただきながら、外科医として必要な症例経験はもちろん、各科の周術期管理やそれに付随する手技を取得することができます。外科ならではの強い結束力も魅力の一つですので、ぜひ一度見学に来て、その雰囲気を感じていただければと思います。



肝胆膵外科
濱田 剛臣

大学では大講座制の強みを活かした研修が可能であり、臓器別の高度な手術および術後管理を学ぶことができます。さらに、各分野との垣根も低く、合同手術を行うことも稀ではありません。幅広い経験ができ、必ず自身の糧になります。一方、関連施設では、地域医療を担うため、年齢層も幅広く、common diseaseが多いです。今まで培った知識・技能をさらに昇華させることができ、「患者さんを診る」ことの本質を学ぶことができます。2023年度は5人の先生方がこの研修プログラムを選択してくれました。今、勢いのあるプログラムの一つです。近い年代の先輩がいることは、指導・目標・同志などの面で、非常に大きなメリットです。外科に少しでも興味がある方は一度見学に来てください。



心臓血管外科
阪口 修平

宮崎大学外科では各分野がお互い協力しながら日々診療にあたり、幅広い分野をシームレスに研修できることが大きな特徴です。毎週の外科合同カンファレンスで症例検討や情報交換を行っており、合同で手術を行うことも稀ではありません。また地方大学ゆえ、common diseaseから希少疾患、高難度症例まで幅広く経験することができます。宮崎の温厚な県民性は外科医も例外ではなく、後輩を優しく指導してくれる先輩がたくさんいます。働き方改革も重視しており、一人一人のワーク・ライフ・バランスを尊重しています。命の瀬戸際にある患者さんを自分の磨いた腕で救うことができる、外科医は非常にやり甲斐のある仕事です。少しでも外科に興味のある方、ぜひ当科で研修してください。

千代反田 顕



みなさんこんにちは。私は、久留米大学を卒業後、宮崎大学での研修を経て外科に入局し6年目になります。外科専門医を取得し、消化器外科専門医を目指して日々奮闘してます。当科は大講座制を掲げておりますが、実際に私がいる医局の部屋には心臓血管外科や呼吸器外科の先生も机を並べており、世間話をするなど各分野の距離感がとても近くfriendlyな環境です^^。消化器外科分野でもロボット手術が導入されるなど、術者も日々技術を磨く必要性がありますが、勉強会が定期的に開かれるなど若手の指導にも力を入れてくださっており、先輩方の背中を追いかけてながら満足のいく環境で仕事をする事ができています。私は手術室で无影灯の下、手術をされている先生方に憧れて外科医となりました^^。悩んでいる方がいれば相談に乗りますので、是非気軽に連絡して下さい。お待ちしております^^。

診療科の紹介

- 消化管(食道・胃・小腸・大腸)の疾患を取り扱う消化管外科と腹部実質臓器(肝・胆道・膵・脾)の疾患を取り扱う肝胆膵外科の2分野の紹介です。
- 外科学分野を横断的に学んで外科専門医を資格を得たのち、消化器外科専門医の資格取得を目標にこの2分野で研鑽をつんでいきます。
- 症例毎に手術適応、手術内容、術後合併症の対応、全身管理について、カンファレンスを重ね、安全性の高い外科診療をめざしています。
- 各領域で鏡視下手術を積極的に導入しています。
- 2022年よりロボット手術も導入し症例を増やしています。
- 緊急手術や外傷手術も対応しており、救命外科を経験できます。
- 若手の先生がバランスよく効率的に消化器外科に精通できるような丁寧な指導をこころがけています。

取得できる専門医及び技能

消化器外科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医、消化器病学会専門医、肝胆膵外科高度技能専門医、胆道学会指導医、膵臓学会指導医、大腸肛門病学会専門医、食道学会食道外科専門医、気管食道科学会専門医、日本外科感染症学会外科周術期感染管理医認定医、日本腹部救急医学会認定医、日本Acute Care Surgery学会認定医など資格取得に必要な手術や処置の技術



主要症例名と実績数

2023年の手術実績数		
症 例	実績数	
【肝胆膵外科 102例】	高難度手術	49
	膵頭十二指腸切除術	21
	肝切除術	43
【上部消化管手術 152例】	高難度手術	70
	食道切除	56
	胃切除	14
【下部消化管手術 196例】	小腸腫瘍・大腸癌	102
	炎症性腸疾患	7
【緊急手術 130例】	内因性疾患手術	115
	外傷手術	15

消化器外科

有事即應！臨機応変に対応できる消化器外科医を育てます！

診療科の紹介

当科では成人心臓疾患(心臓弁膜症、虚血性心臓病など)、先天性心疾患(心室中隔欠損症など)、大動脈疾患(大動脈瘤、大動脈解離など)、末梢動脈疾患、静脈疾患など幅広い疾患を対象に診療を行っています。カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)やステントグラフト内挿術などの低侵襲治療にも積極的に取り組んでいますが、宮崎県の最後の砦として難易度の高い手術や小児・成人先天性心疾患への対応も求められ、最善の治療が提供できるようチーム一丸となって日々の診療に当たっています。県内の関連病院(県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎市郡医師会病院)と共に修練施設群を形成し、計11名の心臓血管外科専門医を配置し、豊富な手術症例数を確保しています。さらなるスキルアップのため国内外のHigh Volume Centerへの留学も行っています。

週間行事・研修に関する行事

月・水曜日は外来。火・木・金曜日は手術。毎週水曜日にハートチームカンファレンス、毎月末の月曜日に成人先天性心疾患カンファレンスを行っています。

取得できる専門医及び技能

外科専門医、外科指導医、心臓血管外科専門医、心臓血管外科修練指導医、循環器専門医、脈管専門医、ステントグラフト実施医および指導医、TAVI実施医および指導医



主要症例名と実績数

2023年の手術実績数		
症 例	実績数	
成人心臓大血管手術	心臓・大血管手術：107件	234
	経カテーテル的大動脈弁留置術：47件	
	胸部大動脈ステントグラフト内挿術：43件	
	腹部大動脈ステントグラフト内挿術：37件	
	小児心臓大血管手術	30
小児心臓大血管手術	心臓手術：26件	
	動脈管開存症など：4件	
	腹部大動脈・末梢血管手術など	38

心臓血管外科

人を思いやる温かいハートとハンドで、循環器疾患に立ち向かおう

乳腺外科

Be a hero for breast cancer patients
in Miyazaki



取得できる専門医及び技能

外科専門医、乳腺専門医やその前段階の乳腺認定医が取得可能です。また、マンモグラフィー読影医やがん治療認定医を取得するサポートを行います。2022年より日本専門医機構でも乳腺外科はサブスペシャリティ領域として認定されました。

2023年の手術実績数

症 例	実績数
【乳腺悪性腫瘍手術 81例】	
乳房温存部分切除+センチネルリンパ節生検	8
乳房温存部分切除+腋窩廓清	3
乳房切除+センチネルリンパ節生検	40
乳房切除+腋窩廓清	25
その他の乳腺悪性腫瘍手術	6
乳腺腫瘍摘出等	12
その他(リンパ節生検等)	5
計99例	

診療科の紹介

乳癌は女性の悪性腫瘍の中で最も頻度が高く、しかも40代後半から60代と働き盛りの世代に多い疾患です。しかしながら、宮崎県では乳腺外科の医師が少ない現状です(乳腺専門医は12名。全国で36位)。

当科では、画像診断(マンモグラフィやUS)、針生検などの基本的な乳腺診療から手術、化学療法まで全てを行っています(がんゲノム医療や妊孕性の問題も大学ならではの取り組みやすい環境です)。結婚後や子育て中でも、乳がん検診を行うことで乳癌診療に貢献することが可能です。また昨年からもう一名乳腺専門医の先生が週3回非常勤で来て頂いて外来診療、手術も行う体制になり非常に心強く思っております。

乳癌に対して薬物療法も行っていますが、薬剤の進歩により最近では著効例も多い状況です(CDK4/6阻害剤や新規抗HER2薬など)。研究面では現在、HER2陰性乳癌の術前化学療法後の追加治療に関する論文を投稿中で、化学療法や稀な症例等に関して学会発表も年3報程度行っています。

主要症例名と実績数

昨年、81例の乳癌手術を行いました。大学ではリスクが高い症例や高齢者が多い関係で乳房切除術が多くなっています。また、リンパ浮腫のリスクの少ないセンチネルリンパ節生検(色素とRIとの併用)を多くの症例(52例)で行っています。

また、乳房の整容性を保つために、乳房温存部分切除術(放射線照射を要します)や形成外科と合同で乳房同時再建(4例)を行っています。加えて、昨年は延べ300例以上の化学療法を行いました。

診療科の紹介

当内分泌外科では主に甲状腺腫瘍(甲状腺癌や良性腫瘍)とバセドウ病、副甲状腺病変に対して外科的治療を行っています。各科と連携し患者さんの状態や疾患の状況を十分に評価した後に外科的適応を評価します。

当科の特色としては、通常の手術だけでなく進行症例や重度の併存疾患を有する症例においても積極的に対応しています。特に心臓血管外科や呼吸器外科と連携し高度浸潤症例においても積極的に手術介入を行っています。

また整容性の向上に努めるためにも鏡視下手術も以前より導入し行ってます。術後の傷が目立たず患者さんからの高い満足度がえられています。

専門施設との治療格差がないよう常に最新の知見を意識しながら最高の診療を提供できるように努めています。

取得できる専門医及び技能

- 日本外科学会専門医・指導医
- 日本内分泌外科学会専門医・指導医



主要症例名と実績数

2023年の手術実績数

症 例	実績数
【甲状腺手術 68例】	
甲状腺癌手術	33
甲状腺良性腫瘍手術	19
バセドウ病手術	16
うち鏡視下手術	8
【副甲状腺手術 13例】	
副甲状腺腫瘍	13

内分泌外科

全国で不足している
内分泌外科を目指しませんか。

診療科の紹介

当呼吸器外科では、原発性肺癌、他臓器からの転移性肺腫瘍などの胸部腫瘍性疾患、縦隔の各種疾患、気胸や悪性胸膜中皮腫などの胸膜疾患、胸部の感染性・炎症性疾患(肺結核、非定型抗酸菌症、膿胸など)、胸壁疾患(胸壁腫瘍や漏斗胸)などの外科治療を行っております。当科では、科学的根拠のある、経験に裏打ちされた医療を、安全・確実に遂行するよう心がけております。近年の手術では、内視鏡を使用して侵襲の少ない小さな手術創で行う胸腔鏡下の手術(VATS)を各種呼吸器疾患に広く応用しています。

また令和2年1月より、原発性肺癌に対するロボット支援手術を開始し、質を落とすことなくさらなる低侵襲治療を行っています。

週間行事

月曜日・金曜日は外来日、火曜日・木曜日は終日手術です。検査、カンファレンスは水曜日に行い、また内科、放射線科、病理との合同カンファレンスも行っております。

取得できる専門医及び技能

- 外科専門医(卒後6年)
- 卒後8年で呼吸器外科専門医
呼吸器外科では若い外科医に積極的に肺癌を始めとした手術の執刀をしていただいています。



主要症例名と実績数

肺腫瘍(肺癌を含む)、気管・気管支腫瘍、自然気胸、胸壁腫瘍、縦隔腫瘍、胸膜疾患、膿胸、横隔膜疾患、胸壁疾患、胸部外傷

2023年の手術実績数

症 例	実績数
【呼吸器外科手術数 241例】	
肺悪性疾患	161
縦隔腫瘍	21

診療科の紹介

小児外科は先天性疾患(鎖肛や食道閉鎖、Hirschsprung病など)、未熟児の消化管穿孔といった新生児・乳児疾患から、虫垂炎や腸重積などの救急疾患、重症心身障害児への外科的介入、小児がんに至るまで幅広い疾患を対象として診療を行っています。頸部から肛門に至るまで、呼吸器、消化器、生殖器、軟部組織と幅広い臓器を扱えるのが大きな魅力の一つです。また機能的な予後を長期にわたりフォローすることから、診療に携わったこどもの成長をご家族と一緒に実感することができます。この喜びは小児外科に特有のものです。

週間行事

定例手術は金曜日に行っています。外来は火曜日と木曜日です。毎週月曜日と水曜日は消化管・内分泌・小児外科のカンファレンス、火曜日と木曜日は肝胆膵外科のカンファレンスに参加します。また必要に応じて小児科や産科、新生児科とのカンファレンスも行います。

取得できる専門医及び技能

外科専門医、外科指導医、小児外科専門医、小児外科指導医、小児がん認定外科医、新生児認定外科医



主要症例名と実績数

2023年の手術実績数

症 例	実績数
鼠径ヘルニア手術	34 (うち腹腔鏡手術12例)
胃食道逆流症に対する腹腔鏡下噴門形成術・胃瘻造設術	5
停留精巣固定術	6
植込型中心静脈カテーテル留置	10
臍ヘルニア根治術	3
鎖肛(高位及び低位)根治術	3
新生児腸瘻・人工肛門造設(穿孔、高位鎖肛など)	2
小児固形悪性腫瘍手術	2
腸閉鎖症手術	1
先天性胆道拡張症手術(腹腔鏡下手術含む)	2
腹腔鏡下胆嚢摘出術	2
腸回転異常症手術	1

総計86件

うち新生児症例7件(7%)、腹腔鏡・胸腔鏡下手術30件(35%)

呼吸器外科

宮崎県の
次世代呼吸器外科を担うのは君だ！

小児外科

こどもの成長に寄り添う
小児外科医を育成します！

責任者からのメッセージ

形成外科
病院教授 伊東 大



プログラムの特徴

本プログラムでは、形成外科専門医となるために経験すべきすべての疾患に関し経験することが可能で、もちろん形成外科専門医取得が可能です。より難易度が高く稀な疾患・病態に対する治療頻度が高いのも特徴です。

- 1 包括的な体表外科：**先天異常、外傷、腫瘍、炎症性・変性疾患など体表面の外科的疾患すべてに豊富な症例数を有しています。
- 2 多種多彩な創傷に対応する外科的治療：**「創傷外科」として院内で発生する術後創に関するトラブルに対応しています。開頭術後の難治性潰瘍、開胸術後の縦隔炎、消化器外科などの腹部手術後の創離開、皮膚科・整形外科での皮膚欠損創など、多種多彩な手術創の修復に関わっています。創傷外科専門医の取得も可能です。
- 3 微小血管吻合技術を用いた再建手術：**外科系各科との緊密な連携により、頭頸部再建、腹壁再建、乳房再建、四肢再建など各種再建手術において遊離組織弁移植術を行っています。また、切断指再接着や肝切除の際の肝動脈吻合などの微小血管吻合も行い、良好な治療成績を得ています。再建・マイクロサージャリー指導医の取得も可能です。
- 4 熱傷治療施設としての地域貢献：**これまで救命救急科・皮膚科が、宮崎県の熱傷治療を支えてきました。現在は当科も加わって協力し宮崎県の熱傷治療に大きく貢献しています。熱傷専門医の取得も可能です。
- 5 研究への取り組み：**遊離皮弁移植後の皮弁の血行動態や創傷治療などの臨床研究に取り組んでいます。希望者には米国テキサス大学への研究留学も夢ではありません。

宮崎県には形成外科専門医も指導医もまだまだ足りません。2021年度から当科を基幹施設とした研修プログラムで、後期研修医募集を開始しました。宮崎江南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構災害医療センターが連携施設です。また、東京女子医大病院と鹿児島市立病院とプログラム連携しています。充実したプログラムおよび充足した症例数を有し、指導医のもと実りある後期研修医生活を送れるようスタッフ一同日々努力しております。少しでも興味があり、やる気のある方、お待ちしております。

連携施設名等

	施設名	指導医	症例数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	伊東 大 教授、他1名	約400例
連携施設	さかいクリニック、宮崎江南病院、国立病院機構 災害医療センター、かたぎりクリニック		
地域医療連携施設	都城市郡医師会病院		
他プログラムの基幹施設	東京女子医大病院、鹿児島市立病院		

取得可能な専門医資格および技能

- 日本専門医機構 形成外科専門医
- 日本形成外科学会認定 特定分野指導医
皮膚腫瘍外科分野指導医
小児形成外科分野指導医
再建・マイクロサージャリー分野指導医
- 日本創傷外科学会認定 創傷外科専門医
- 日本頭蓋頸顔面外科学会認定 頭蓋頸顔面外科専門医
- 日本熱傷学会認定 熱傷専門医
- 日本手外科学会認定 手外科専門医

プログラム達成目標

- 1 専門知識**
専攻医は専門研修プログラムに沿って(1)外傷、(2)先天異常、(3)腫瘍、(4)瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、(5)難治性潰瘍、(6)炎症・変性疾患、(7)その他、(8)美容外科について広く学ぶ必要があります。
- 2 専門技能**
形成外科領域の診療を(1)医療面接(2)診断(3)検査(4)治療(5)偶発症に留意して実施する能力の開発に務める必要があります。
- 3 4年間での手術経験数および執刀数**
基幹施設と連携施設を合わせた研修施設群全体について、専攻医1名あたり4年間で最低300例(内執刀数80例)の経験(執刀)症例数を必要とします。

主要症例名と実績数

主科別手術件数

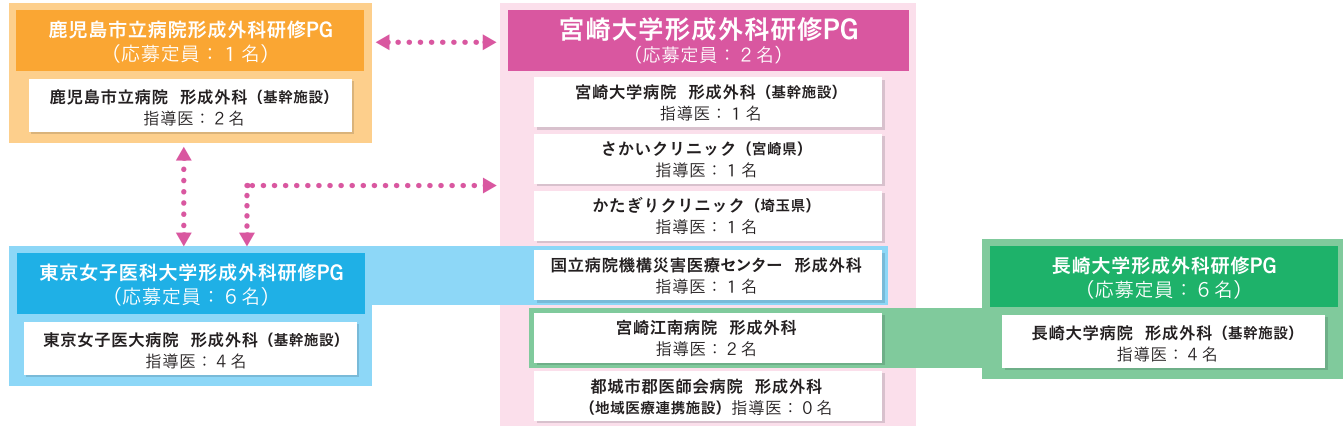
診療科	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
形成外科	205	257	317	360	300	273
耳鼻咽喉科	34	33	15	8	9	12
歯科口腔外科	18	30	28	27	23	27
救急科	5	8	7	4	6	6
整形外科	10	10	5	12	9	7
外科	22	7	20	27	21	19
皮膚科	10	2	0	0	1	4
脳外科	7	3	3	3	2	1
産婦人科・NICU	1	0	1	0	4	2
合計	312例	350例	396例	441例	375例	351例



専門医取得までのタイムスケジュール(専門研修ローテーション)

本研修プログラムでは宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、4つの連携施設、及び2つの他プログラムの基幹施設とともに病院施設群を構成しています。施設群で育成することの意義は、各施設によって分野や症例数が異なるため、専攻医が専門研修カリキュラムに沿って十分に研修を行うことです。専攻医はこれらの施設群をローテートす

専門研修施設群



	専門研修 1 年目	2 年目	3 年目	4 年目
ローテーションの一例	宮崎大学医学部附属病院	鹿児島市立病院	国立病院機構災害医療センター	東京女子医大病院
県内限定ローテーションの一例	宮崎江南病院	宮崎大学医学部附属病院	宮崎江南病院	さかいクリニック

※専攻医は最低1年間基幹施設である宮崎大学医学部附属病院での研修を必要とします。

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
朝	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 外科総合カンファ 回診
午前	外 来	外来 中央手術	中央手術	外 来	中央手術
午後	外来手術	中央・外来手術	中央手術	外来手術	中央手術
夕方	頭頸部カンファ イブニングカンファ 回診	イブニングカンファ 回診	イブニングカンファ 回診	術前カンファレンス イブニングカンファ 回診	術後カンファレンス イブニングカンファ 回診、抄読会

先輩からのメッセージ

2015 年発足した宮崎大学病院外科学講座形成外科分野は、現在医師3名で診療にあたっております。手術症例数は 2023 年の1年間で約350例でした。約1/3が他科との連携手術症例で、その殆どが再建手術であり、年々増加傾向です。つまり当科の特徴は、一人当たりの経験症例数が非常に多いため、経験値が急上昇。しかも他科からの紹介症例が多く、経験できる手術症例の種類が多様である事です。さらに形成外科学分野は外科学講座と大きな母体にいることで早急に様々な問題が解決できます。外科学講座内は非常にコミュニケーションがとりやすく、困った症例などで他科に相談するというストレスがなく解決できます。さらに外科の知識が豊富に吸収できる事も特徴です。是非見学に来てください！お待ちしております。



お問い合わせ先

担 当：伊東 大

T E L：0985-85-9786
F A X：0985-85-9788
e-mail：hiroshi_itou@med.miyazaki-u.ac.jp

形成外科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/surgery/info-field/field-4/>



募集定員
6名
研修期間
4年



責任者からのメッセージ

整形外科
帖佐 悦男



宮崎の自然や人は最高です。

また、柔軟性のある理想的教育環境や研修カリキュラム、気軽に相談できる多くの指導医がいます。
是非、一緒に研修し世界を視野に地域から始めましょう。南国宮崎の自然と人があなたを待っています！

プログラムの特徴

本プログラムは3年9ヶ月の研修を義務付けており、4年目の12月で終了し、1月に専門医試験を受験します。

- 1年目は大学病院で研修します。
- 2～3年目は地域中核病院または宮崎市内の連携病院で、主に一般整形外科・外傷を学び外来～手術～後療法の主治医となります。この時期に地域医療も研修します。
- 3年9か月の研修後に、大学院希望者は大学院コースへ、subspeciality希望者は大学を含む連携病院での研修が選択できます。
- 専門医取得後、海外・国内留学などを推奨しています。また、各種競技の帯同ドクター、スポーツ現場での活動や日本スポーツ協会公認スポーツドクターの取得も推奨しています。
- 女性医師へのサポート体制も整えています。産休・育休の取得はもちろんのこと、家庭の状況に応じて勤務形態を選択することができ、女性にも優しいプログラムになっています。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	帖佐 悦男、他13名	脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、スポーツ、小児整形、腫瘍、リハビリ
連携施設	高千穂町国民健康保険病院、宮崎県立延岡病院、済生会日向病院、宮崎県立こども療育センター、宮崎市立田野病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎江南病院、串間市民病院、宮崎県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構都城医療センター、えびの市立病院、国立病院機構宮崎病院、千代田病院、藤元総合病院、橘病院、野崎東病院、球磨郡公立多良木病院、宮崎善仁会病院、潤和会記念病院、小林市立病院、なんごう病院		

取得可能な専門医資格および技能

<取得可能専門医>

日本整形外科学会整形外科専門医

日本リハビリテーション医学会リハビリテーション専門医

<サブスペシャリティ>

日本脊椎脊髄病学会指導医、日本リウマチ学会専門医、日本手外科学会専門医

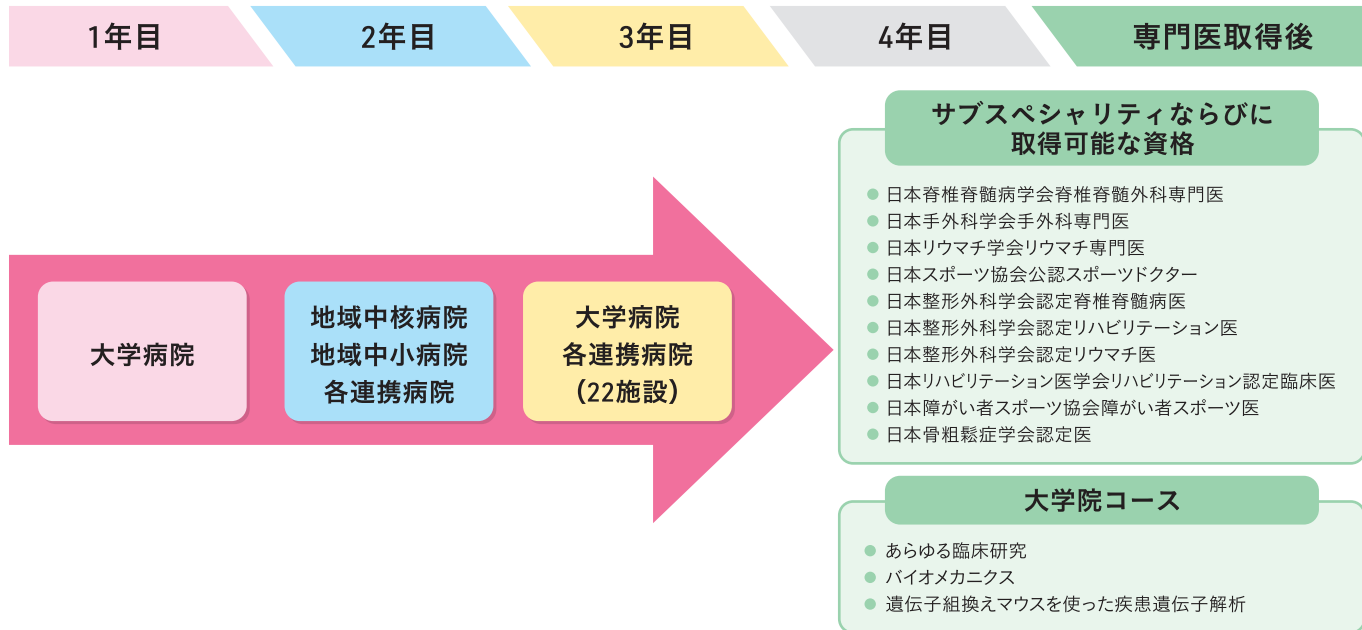
<取得可能な資格>

日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本リハビリテーション医学会リハビリテーション認定臨床医、日本障がい者スポーツ協会障がい者スポーツ医、日本医師会健康スポーツ医、日本人工関節学会認定医、日本骨粗鬆学会認定医、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会関節鏡技術認定医

主要症例名と実績数

入院加療を行っている症例は、救急外傷(多発・重度外傷)、骨折などの外傷はもちろんのこと、変形性関節症などに対する再生医療としての骨切り術・関節形成術や人工関節置換術、靱帯損傷に対する靱帯再建や腱板損傷や肩関節脱臼に対する関節鏡視下手術、顕微鏡手術を導入した脊椎外科、スポーツ選手管理を行うスポーツ整形、手の機能再建や多指症など先天性疾患に対する形成術を中心とした手外科、骨軟部腫瘍に対する化学療法や再建術、薬物療法から機能再建術まで担う関節リウマチ、小児整形外科、骨粗鬆症など、専攻医はすべての症例を研修することができます。手術症例数は年間1,300例で、同規模の病院では最多です。

専門医取得までのタイムスケジュール



週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
AM	手術	外来	外来	抄読会・手術	術前カンファ・外来
PM	手術	外来・病棟業務	検査	手術	術後カンファ・回診・医局会

指導医からのメッセージ



助教 永井 琢哉

『整形外科は大工さんみたい』確かに手術室ではドリルやハンマーの音が響きます。力仕事のイメージがあるかもしれませんが、実はスクリュ－1本にも工夫を凝らしており、女性医師も数多く活躍しています。最大の魅力は、患者さんの笑顔が見られることです。今まで歩けなかった方が歩けるようになったり、痛みが軽くなったり、整形外科は子供からお年寄り、アスリートまで診る運動器のスペシャリストです。また整形外科専門医を取った後にスポーツドクターなどのサブスペシャリティーにも挑戦できますし、骨粗鬆症などありふれた病気もまだまだ解明できない謎があり、アカデミックな研究も盛んに行っています。整形外科に少しでも興味のある方、まだ将来何科になるか悩まれている方はぜひ研修に来てくれば嬉しいですよ。一生の仕事になると思います。

ココに注目！

当科では、なでしこジャパンやラグビーワールドカップ、国体の帯同ドクターの派遣、各種大会のメディカルチェック・サポートも行っています。また学童期の運動器検診、少年野球検診、ロコモティブシンドロームに関する事業にも力を入れており、子供から高齢者までの運動器のケアを行っています。

先輩からのメッセージ



大江整形外科病院 近藤 梨紗

私は、H16年に東京女子医大を卒業後、地元の宮崎に戻り、卒後臨床研修を経て、当医局に入局しました。医師3年目に、同じ卒後臨床研修医の夫と結婚し、妊娠しましたので、初期にしっかりとした研修が受けられませんでした。1年間の育休後に、職場復帰させていただきました。復帰時は、整形外科医としては何も分からない状態で、不安もありましたが、医局の先生方からしっかり指導していただき、関連病院での研修を積み、整形外科専門医を取得することができました。子育てをしながらの常勤での勤務は、時には過酷でもありましたが、当医局は進路についても希望を考慮していただき、結婚、出産後も仕事を続けることができております。現在は実家の病院を継承し、今後は生まれ育った宮崎の地域医療に貢献し続けていきたいと考えています。整形外科は力仕事、男性の職場というイメージが強いですが、当医局は子育てをしながら働く女性医師も多いですし、医局の先生方も子育てと仕事の両立に非常に理解、協力をして下さるので、女性でも働きやすい職場です。また大学病院には、託児所も併設されておりますので、環境も整っています。当医局では、バリバリ手術される女医さんから、時短勤務で働かれる女医さんまで、働き方は多様ですので、女性だから、整形外科はちょっと、と二の足を踏んでいる方は、是非一度見学、研修に来てください。

お問い合わせ先

担当：坂本 武郎

T E L：0985-85-0986

F A X：0985-84-2931

e-mail：seikei@med.miyazaki-u.ac.jp

整形外科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/ortho/>





責任者からのメッセージ

リハビリテーション科 教授 荒川 英樹

宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専攻医養成プログラムは、地方の立地を生かし、多くの症例の経験ができ、専攻医の皆さんの多様な希望にこたえられるプログラムを提供します。宮崎県はいわゆる地方都市です。大都市と比較して患者数ではかないませんが、以下の点で有利であり研修を勧めます。宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科が地域の7つの連携施設と密に連絡を取りあい、専攻医の希望を取り入れながら研修を進めていきます。宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修PGのメリットは以下の通りです。

- ① ほとんどすべての難治症例が宮崎大学医学部附属病院に搬送されます。従って基幹病院である宮崎大学医学部附属病院で研修することは、多くの難治症例を経験することができます。専攻医数も少ないので丁寧な指導が期待できます。
- ② 一人あたりの専攻医が受け持たせてもらえる患者の数や、主体となって実施できる検査などが格段に多くなっています。
- ③ 大都市の病院では専門分野は細分化する傾向がありますが、地方都市では多くの専門分野を総合的に研修できます。

プログラムの特徴

当院は宮崎県における中核的教育医療機関で、ドクターヘリを運用する救命救急センターを軸とした超急性期リハや高度合併を有する内部障害リハ、がんリハなど幅広いリハが特徴です。また近接する宮崎大学宮崎市立田野病院と併設の介護老人保健施設では地域在宅のリハ／ケア医療の実践に力を入れていますので、実際の地域往診、訪問・介護リハ、看取りケアなどを体験することができます。

取得可能な専門医資格および技能

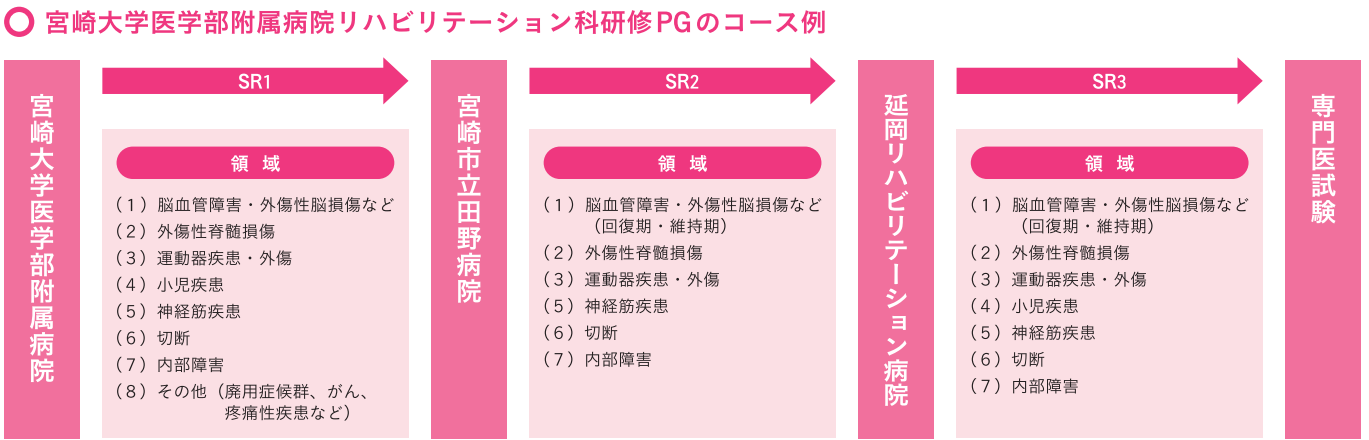
リハビリテーション科専門医(日本リハビリテーション医学会認定)宮崎大学医学部附属病院専門研修PGでは、基幹施設と連携施設それぞれの特徴を生かした症例や技能を広く、専門的に学ぶことが出来ます。

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	荒川 英樹 教授、他1名	リハビリテーション科・整形外科
連携施設	宮崎市立田野病院、延岡リハビリテーション病院、ちゅうざん病院		
関連施設	宮崎県立こども療育センター、国立病院機構都城医療センター、宮崎江南病院、野崎東病院、潤和会記念病院		

専門医取得までのタイムスケジュール

図に宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修PGの3年間のプログラム(基幹病院と連携施設のローテート)における1コース例を示します。

施設は大学病院、一般病院、リハビリテーション専門病院の中から選択され、症例等で偏りの無いように、専攻医の希望を考慮して決めます。



プログラム達成目標

知識として求められるものには、リハビリテーション概論、機能解剖・生理学、運動学、障害学、リハビリテーション関連領域疾患の知識などがあります。専門技能(診察、検査、診断、処置、手術など)として求められるものは、8領域に亘ります。

- ① 脳血管障害、外傷性脳損傷など

② 外傷性脊髄

③ 運動器疾患、外傷

④ 小児疾患
- ⑤ 神経筋疾患

⑥ 切断

⑦ 内部障害

⑧ その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
午前	病棟カンファ リハ外来	勉強会（月1回） 病棟カンファ リハ外来 ボトックス・嚥下外来	病棟カンファ リハ外来 検査・測定	病棟カンファ リハ外来	病棟カンファ リハ外来
午後	定期ミーティング（月1回） 他科合同カンファ（月1回）	高次脳外来 検査・測定 疾患別カンファ	装具外来 疾患別カンファ	検査・測定 疾患別カンファ 勉強会（月1回）	高次脳外来 装具外来 リハカンファ 疾患別カンファ

ココに注目！ 広がる リハビリテーション医学・医療のニーズ

わが国のリハビリテーション医学・医療の原点は、戦前の急性灰白髄炎(脊髄性小児麻痺：ポリオ)、骨・関節結核、脳性麻痺などの肢体不自由児に対する療育にあるとされています。宮崎県では1959年に宮崎県立整肢学園が開設され、現在のこども療育センターへと発展しています。その後、戦傷、労働災害や交通事故で対象となる患者さんが急増し、四肢の切断や骨折、脊髄損傷のリハビリテーション医学・医療が大きな課題となりました。そして超高齢社会となった現在、リハビリテーション医学・医療の対象として、これまでの小児疾患や切断・骨折・脊髄損傷に中枢神経・運動器(脊椎・脊髄を含む)・循環器・呼吸器・腎臓・神経筋疾患、関節リウマチ、摂食嚥下障害、がん、スポーツ外傷・障害などの疾患や障害が加わりました。さらに周術期の身体機能障害の予防・回復、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、フレイルなども加わり、ほぼ全診療科に関係する疾患、障害、病態を扱う領域になっています。更に東京オリンピック・パラリンピックも決定し、障がい者(後遺症)のADLだけでなくQOLさらにより高度な機能改善に視点を向ける“障がい者スポーツ”も注目されています。残存機能に適した補装具、スポーツ関連機器などの適正やクラス分類分けなどを、リハビリテーション医学・医療という幅広い視野で経験することができます。宮崎県には、障がい者アスリートが日本・世界各地からキャンプに訪れ、サブスペシャリティとして取得可能な“障がい者スポーツ医”としても活躍できます。

お問い合わせ先

担当：荒川 英樹

T E L : 0985-85-0986

F A X : 0985-84-2931

e-mail : rehabili@med.miyazaki-u.ac.jp

リハビリテーション科HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/rehabili/

To the next generation 産婦人科専門研修プログラム

募集定員
10名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ



産科婦人科
教授 桂木 真司

当科では臨床医かつ研究者として幅広く活躍できる人材の育成を目標としています。産科、婦人科ともに症例が豊富でチーム医療を通じて高度な技術や診断能力を高める事ができます。周産期、婦人科、新生児領域における研究も盛んであり、臨床と研究の両立も盛んであり、働き方改革を意識した勤務時間にも留意しています。女性：男性＝6：4程度で育児中の若いママさん先生も多く活躍し、医局全体が明るく楽しく仕事ができる診療科です。次世代を築く若い先生方と臨床の喜びを共有できる日がくる事を心まちにしています。

プログラムの特徴

当院の産婦人科は、周産期医療、婦人科腫瘍、生殖内分泌、女性ヘルスケア、臨床遺伝医学の領域を担っています。周産期部門では、周産期専門医の指導のもとに母体胎児管理ならびに新生児管理を行っています。産婦人科医が新生児医療のトレーニングを行っている施設は全国でも稀ですが、胎児管理から新生児管理を一連に管理することは、母児にとって極めて有用で、過去20年以上にわたり、全国トップクラスの実績を誇っています。婦人科領域では、婦人科腫瘍専門医の指導下に、悪性腫瘍の集学的加療、腹腔鏡やロボット補助下などあらゆる婦人科手術を行っています。その他、生殖内分泌、女性ヘルスケア、臨床遺伝医学についても学ぶことができます。

連携施設名等

	施設名	指導医	分娩数（2020年度）
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	桂木 真司 教授、他14名	271
連携施設	県立宮崎病院、県立延岡病院、県立日南病院、独立行政法人国立病院機構都城医療センター、宮崎市医師会病院、古賀総合病院、宮崎善仁会病院、ARTレディースクリニックやまうち、鹿児島市立病院、船橋中央病院、三重大学医学部附属病院、九州大学病院		

取得可能な専門医資格および技能

- 日本産科婦人科学会専門医
- 日本周産期新生児学会 周産期専門医(母体・胎児、新生児)
- 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
- 日本産科婦人科内視鏡学会 婦人科内視鏡技術認定医
- 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医
- 日本生殖医学会 生殖医療専門医
- 日本内分泌学会 内分泌代謝専門医
- 日本胎児心臓超音波学会 胎児心臓超音波専門医
- 母体保護法指定医

上記以外にも含め、多岐にわたる分野の専門医資格が習得可能です。

プログラム達成目標

日本専門医機構産婦人科専門医資格に必要な症例はすべて本プログラムで全て経験できます。

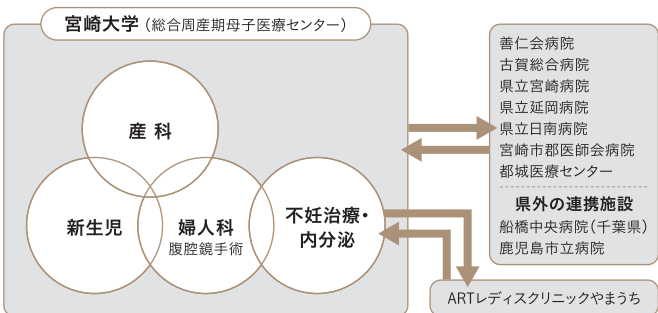
- 経腔分娩
- 帝王切開
- 前置胎盤/常位胎盤早期剥離
- 子宮内容除去術/子宮内膜全面掻爬
- 腔式手術
- 子宮付属器摘出術
- 単純子宮全摘術
- 浸潤がん手術
- 腹腔鏡下手術
- 不妊症治療
- 生殖補助医療における採卵・胚移植
- 思春期/更年期女性医学
- 内分泌療法

専門医取得までのタイムスケジュール

専攻医1年目は大学病院で産科、婦人科、新生児領域をローテーションし、各領域の基本的な知識と手技を身につけます。専攻医2～3年目は県内の関連施設(地域周産期センター)を中心に研修を行います。各施設では基礎的な多くの症例を経験することができます。またこの期間に経験した症例について全国学会での発表、論文の作成を行います。3年間の専門研修終了により、日本専門医機構産婦人科専門医認定試験の受験資格を取得します。

専攻医キャリアデザイン

宮崎大学を中心とした周産期医療の教育に加え、婦人科、生殖医療の研修が可能です。専攻医1年目は宮崎大学で2年目以降は宮崎県内の数か所の施設での研修を行います。



主要症例名と実績数

	症例	実績数
産科	経腔分娩	200
	帝王切開術	100
	選択的帝王切開/緊急帝王切開	
	合併症妊娠	50
	糖代謝異常、自己免疫疾患、甲状腺疾患、心疾患、悪性腫瘍など	
	産科合併症	50
婦人科	多胎・妊娠高血圧症候群・前置胎盤・胎盤早期剥離・胎児疾患など	
	悪性腫瘍手術	50
	広汎子宮全摘術・後腹膜および傍大動脈リンパ節郭清など	
	低侵襲手術	50
	腹腔鏡手術 ロボット支援下手術 子宮鏡手術など	
	腔式手術	20
	腔式子宮全摘術 子宮脱手術 子宮頸部円錐切除術 など	

指導医からのメッセージ

前卒後センター 教員 (本年度は育児休暇当中) **圓崎 夏美** (2014年宮崎大学卒)

産科では新たな命の誕生に立ち会い、NICUでは小さく生まれた赤ちゃんの全身管理を行い、婦人科ではがんと闘う女性のサポートを行います。ひとえに産婦人科といっても学べることは幅広く、内科的管理から外科的管理まで様々な知識が必要です。私たちは一丸となり、毎日宮崎の赤ちゃん＆女性のため奮闘しています。忙しい・大変なイメージがあると思いますが、出産・育児を行いながら働く女性医師も増えており、自分の人生設計に応じた働き方ができるようサポートしていきます!宮崎の産婦人科医療と一緒に盛り上げていきましょう!

ココに注目!

宮崎大学産婦人科講師/副診療科長/医局長 **土井 宏太郎** (2000年鹿児島大学卒)

産婦人科は、人生にもっとも長くかわかり、そして次世代へ繋ぐ唯一の診療科です。周産期における胎児管理・新生児管理・思春期の女性医学・婦人科腫瘍・成人における月経の問題・更年期症候群・老年期医療の女性ヘルスケアまで、長く広く関わることができます。宮崎大学産婦人科教室は、あまり多い人数ではありませんし、凄く先進的な医療設備や特殊技術を多く持ち合わせているわけでもありませんが、日々、謙虚に自分たちができうることを全うしていくことで地域の医療に貢献しています。そしてそれを一人一人が積み重ねることで、大都市にも負けない世界に誇れる質の高い産婦人科医療を実践することができています。私たちは地域の女性やその家族がもっとも欲している医療に応えることができる医師を、より多く育てていきたいと思っています。将来を担う若い先生方には、等しく得た機会を地道に積み重ねて医師としての力をしっかり身につけ、それぞれに最適な場所でその力を大きく伸ばし存分に発揮してもらいたいと思っています。宮崎にゆかりのある人も、そうでない人も年齢経験問わず老若男女歓迎です。ぜひ私たちと一緒に産婦人科医療を学び、すべての女性とその家族の幸せな人生をサポートしていきましょう。そして、やりがいのある充実した医師人生の第一歩を踏み出していきましょう。

お問い合わせ先

担当：土井 宏太郎
TEL：0985-85-0988
FAX：0985-85-6149
E-mail：koutarou_doi@med.miyazaki-u.ac.jp

週間スケジュール (宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
朝	関連病院 合同症例 カンファレンス	新生児科症例 カンファレンス	リサーチカンファ 研究結果 発表会	産科症例 カンファレンス	婦人科症例 カンファレンス
午前	病棟	手術/病棟	病棟	手術/病棟	病棟
午後	回診	手術/病棟	病棟	手術/病棟	病棟
夕方			病理部門合同 カンファレンス		

先輩からのメッセージ

専門医2年目 宮崎市医師会病院 勤務 **大富 正子** (2017年宮崎大学卒)

産婦人科は周産期、腫瘍、新生児医療、女性医学など幅広い分野があり、やりたいことがあれば各々に適した道が用意されています。内科的な頭の使い方も、外科的な体の動かし方もでき、メリハリのある生活の中で専門性を高めていくことができるという魅力もあります。また、私たちの医局には出産・育児を行いながら働く医師が多数在籍しており、各々の人生設計に応じた働き方が可能です。外科か内科で迷っている方、「何に向いているのかわからない」と悩んでいる方、子育てしながら仕事を続けていけるのか不安な方、ぜひ宮崎で一緒に働きましょう!

専攻医2年目 宮崎大学勤務 **川越 万葉** (2021年福岡大学卒)

私は入局一年目の5月に出産し、産休・育休をいただいたのち今年の4月に復帰しました。現在は専攻医と育児の両立生活が始まったところです。出産したものの、産婦人科医と子育てとの両立ができるか復帰前はかなり不安でしたが、医局の先生方が非常に気にかけてくださり、大変ありがたいことに子供との時間も確保できております。当医局は子育て中の女医さんも多数在籍しており、子育てとの両立を応援してくれる医局だと感じました。今、私が専攻医と子育ての両立ができているのも、桂木教授や医局長の土井先生をはじめとする先生方や自分の不在時に子供と一緒にいてくれる家族のおかげだと思っています。私は県外の大学出身であったため、卒業時宮崎に帰ってくるかギリギリまで悩みました。しかし、今こうして自分がやりたいことを思う存分させてもらい、自分達をサポートしてくれる家族のいる宮崎に帰ってきて、そして宮崎大学産婦人科に入局することができて本当によかったと思っています。自分もはやく知識や技術を身につけて少しでもお役に立てるように、恩返しできるように頑張りたいと思います。当医局は非常にアットホームで和気藹々とした医局です。先生方が親身にそして熱心にご指導してくださるおかげで充実した日々を過ごせております。まだまだわからないことだらけですが、先生方のおかげで少しずつできることも増えてきてとても楽しいです!少しでも興味を持ってくれた医学生、研修医の先生方にはぜひ一度見学に来ていただきたいです!

産婦人科HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/obgyn/

